

1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全

R8.2
農林課

めざす姿 優良農地が確保され、農業・農村の有する多面的機能が発揮されている。

	単位=ha	推移 (R7見込)						目標
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
農振農用地面積		1,854	1,850	1,847	1,844	1,842	1,842	1,834
遊休農地面積		18	17	17	17	17	17	13
環境保全型農業直接支払事業取組面積		13	16	15	15	17	17	31

- 8年度のポイント
- ① 農業生産基盤の強化、農地・農村の多面的機能の保全
 - ② 優良農地の確保と適正な土地利用の推進

① 農業生産基盤の強化、農地・農村の多面的機能の保全

【予算額 333,744千円】

水田の利活用促進に必要な基盤整備を進め、営農条件を改善し農作業の効率化を図ります。また、老朽化した農業用施設の改修・改良を促進し、施設の耐震化、維持管理の低減に努めます。

【主な事業】

- 多面的機能支払交付金事業

継続

【予算額 95,746千円】

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。 令和8年度対象農地：約1,102ha

令和7年度 多面的機能支払予定面積

組織名	新規/継続	予定面積 (ha)		
		農地維持	共同活動	長寿命化
大田切地区農地・水環境保全管理協定	継続	446	446	446
駒ヶ根竜東ファーム	継続	55	55	55
下平地域水土里を守る会	継続	155	155	155
中田切井自然環境を守る会	継続	95	95	95
栗林河原を守る会	継続	15	15	15
駒ヶ根東部地域広域協定	継続	336	336	336
合計		1,102	1,102	1,102



農地維持活動による泥上げの様子



共同活動による劣化した水路施設の修繕

□ 農業基盤整備事業

- ・ 農業基盤整備促進事業(竜東地区)

継続

【予算額 6,800千円】

竜東土地改良区の区域内において、水路施設の改修工事を実施する。

水路改修工事 L=50m

- ・ 農業水路等長寿命化・防災減災事業(下平井)

新規

【予算額 32,000千円】

駒ヶ根土地改良区の区域内において、水路施設の改修工事を実施する。

水路改修工事 L=60m



改修前の水路施設



改修工事後の水路施設

□ 重点4 竜東振興プロジェクト

- ・ 竜東振興土地改良基盤整備事業 (新宮川岸地区)

継続

【予算額185,500千円】

リニア発生土を活用した土地改良事業を実施し、農地の区画整理や非農用地等の工事を行う。

対象区域面積:約8.1ha

□ その他事業

継続

【予算額 13,698千円】

- ・ 市単緊急農地防災事業、公共水域維持管理事業、地すべり地区管理委託、各事業負担金、農村環境改善センター管理事業、雨水排水対策調査費 等

② 環境保全型農業支援推進

継続

【予算額 1,365千円】

農業が持つ自然の力を大切にしながら、土づくりを基本に、化学肥料や農薬の使用をできるだけ少なくする取り組みを支援し、環境にやさしく、安心して続けられる農業を推進します。

□ 環境保全型農業支援

化学肥料や農薬を減らすなど、環境にやさしい農業に取り組む農業者を支援します。



2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農業の創出

R8.2
農林課

めざす姿 次世代に繋がる、魅力あふれる農業が実現している。

	推移 (R7見込)							目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
新規就農者数 (累計) 単位=経営体	38	42	44	53	55	58	62	52
有害鳥獣被害 単位=千円	3,576	4,750	5,108	2,987	2,948	4,360	4,360	4,000
認定農業者数 (経営体)	79	77	79	79	81	80	81	80

8年度のポイント ① 地域営農の推進 ② 農業の安定運営への取組み ③カイクプロジェクト

① 多様な担い手や後継者の育成確保対策の推進

継続 【予算額 25,846千円】

農業の活性化を図るため、中核となる多様な農業経営体の育成と後継者および新規就農者の確保・育成を推進します。

- 担い手育成の推進
- 新規就農者支援
- 新規就農準備校開校
- 農業制度資金利子補給
- 収入保険加入促進補助
(1回目:保険料の50%、2・3回目:保険料の30%)



新規就農準備校

② 農業生産組織の機能強化

継続 【予算額 15,552千円】

望ましい農業構造を確立し、営農センターの指導体制を強化することで、米政策の転換期に対応できる農業生産組織の機能向上を図ります。

- 地区営農組合など地域営農組織の強化
- 需要に応じた米生産の推進
- 組織毎に地域特色を出した農業の推進

③ 活力ある産地形成

継続 【予算額 105千円】

需要に応じた安定した供給体制を整えるとともに、技術の開発と普及を通じて、経営の安定と環境にやさしい農業を進めます。あわせて、都市との交流や広域的なつながりを広げ、地域農業の魅力向上を図るとともに、安全・安心な農産物の生産や、消費者ニーズに合った振興作物、ごま・二条大麦の栽培を進めます。

- 信州駒黒の普及
- 二条大麦の普及



ごま試験圃場



モルトの原料となる二条大麦

④ 6次産業化の推進

継続

【予算額 1,000千円】

6次産業化に向けた付加価値を高めるための研究を基に、地域資源を活かした特産品づくりや新商品の開発、販路開拓や流通体制の整備等、地域における6次産業化の推進を支援します。

□ 6次産業化特別推進事業補助金

○対象

地区営農組合、農事組合法人など

○対象事業

新商品開発、販路開拓、販売促進、施設等整備など

○補助額

対象経費総額の4/5以内 上限:50万円



異業種間ニーズマッチング交流会

□ 農商工連携の推進

⑤ 有害鳥獣駆除対策の推進

継続

【予算額 4,000千円】

有害鳥獣による農作物の被害を減少させるため、関係機関や組織と協力して、効果的・効率的な駆除対策に取り組みます。

□ 有害鳥獣被害対策事業の推進

□ 農作物被害対策の推進



有害鳥獣一斉駆除



サル捕獲講習会

※鳥獣被害対策実施隊報酬、狩猟免許取得補助等については、4-1-4-②に掲載

⑥ 農村地域の活性化

継続

【予算額 133,773千円】

中山間地域の振興と地域ぐるみの農村環境の保全、多面的機能を発揮するため、農業と共生できる地域社会を構築します。農地中間管理事業・農地情報地図システムなどの活用により、農用地の利用集積の一層の促進と耕作放棄地の解消を図りながら、農地の効率的な運用規模拡大の支援と農作業受委託を進めます。

また、竜東の玄関口に位置する新宮川岸地区に、農産物直売所や農産物加工所などの農業振興施設を整備し、「シルクミュージアム」や「ふるさとの家」などと連携しながら、竜東地域の農業振興をはじめ、地域の活性化を図ります。

□ 竜東振興拠点施設整備事業(重点4 竜東振興プロジェクト)

継続

【予算額 700千円】

- ・ (繰越)竜東振興拠点施設基本設計業務
- ・ 飛び地不動産鑑定委託

□ シルクミュージアム運営事業(重点4 竜東振興プロジェクト)

継続

【予算額 54,192千円】

- ・ カイコプロジェクト関連(動態展示、バイオ医薬品への活用、地域おこし協力隊配置)
- ・ 施設運営、施設管理、施設修繕外
- ・ 糸平フェスティバルの実施

□ 駒ヶ根ふるさとの家運営事業(重点4 竜東振興プロジェクト)

継続

【予算額 12,496千円】

□ 中山間地域等直接支払事業

継続

【予算額 66,385千円】

3 新しい技術を活かしたスマート農業の推進

R8.2
農林課

めざす姿

- ロボットやICT等の先端技術を活用することで省力化・効率化が進み、規模拡大された農業経営体が増えている。
- 知識や経験に関わらず、誰もが取り組みやすい農業が実現している。
- 適切な栽培管理が容易となり、高品質な農作物が生産されている。

	推移					目標
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
スマート農業の導入経営体数【土地利用型】（累計）	2	4	9	18	23	5
スマート農業の導入経営体数【園芸・果樹型】（累計）	0	1	1	1	3	5
スマート農業の研修会・検討会等の開催（累計）	3	10	22	29	34	30

8年度のポイント

- ① 各地域での将来営農ビジョンの検討、スマート農業研究、実証実験の実施
- ② スマート農業導入体制の構築及び導入支援

① スマート農業研究・実験等への支援

継続 【予算額 1,000千円】

- ・導入技術と実証実験内容の情報収集及び情報提供。
- ・実証実験による地域に適したスマート農業の研究。
- ・スマート農業に関する研修会等の開催。

(スマート農業機械・機器の例)

- ラジコン式草刈機
- 自動走行機械
- 栽培管理システム
- 自動収穫ロボット
- 自動給水システム
- スマートグラス 等



中沢小5年生スマート農業機器実演会(ラジコン草刈り機)



水田除草ロボット ミズニゴール

② スマート農業機械等導入支援補助

拡充 【予算額 7,000千円】

農業者の高齢化や減少による労働力不足等を解消し、農作業の効率化、生産性や所得の向上に資するスマート農業機械等の導入に対し支援します。

- 対象
 - 認定農業者、認定新規就農者、中心経営体
- 対象機器
 - 農林水産省のホームページで公表しているスマート農業技術カタログに記載されている機械等
- 補助額
 - 購入費の1/2 限度額: 100万円(法人200万円)



4 多面的機能を発揮して暮らしを守る森林づくり

R8.2
農林課

めざす姿

- 森林のもつ多面的機能が発揮され、生活基盤が支えられている。
- 森林整備を促進することで、地域資源である森林が有効活用されている。

		推移(R7見込)			目標
		R5	R6	R7	R8
森林整備面積	単位=ha	31	24	14	70
松くい虫被害枯損木処理量	単位=本	625	353	348	900

8年度の
ポイント

- ① 森林整備の促進
- ② 林道開設・林道改良の推進

① 森林整備の計画的な推進

【予算額 61,108千円】

森林のもつ多面的機能を持続的に発揮できるよう、計画的な森林整備を進めます。

【主な事業】

- 森林整備促進対策事業

継続

1,500千円

森林整備地域活動支援事業等により森林整備を促進します。

内容： 間伐事業嵩上げ補助 ・ 国県の補助金に事業費の15%以内の嵩上げ補助

- 林道開設

森林整備を促進するために、林道の開設・改良工事を実施し、林内路網の整備に努めます。

- ・ 林道開設工事：天白高烏谷線 L=60m W=3.0

継続

21,800千円

- ・ 林道改良工事：古城線 L=40m W=4.0

継続

19,800千円

- ・ 林道補修事業：林道21路線の維持管理

継続

17,850千円

- 市有林造成事業

継続

158千円

市有林の維持管理を実施します。

内容： 市有林の維持管理 等



森林整備(間伐)実施前



森林整備(間伐)実施後

② 森林被害の防止対策の推進

【予算額 58,729千円】

有害鳥獣による農林被害を軽減するため、シカなどの個体数調整の促進や、松くい虫などによる被害から森林を保護するため、薬剤散布と被害木処理により緑豊かな森林の保全と景観形成に努めます。

【主な事業】

□ 野生鳥獣対策事業

- ・ 鳥獣被害対策実施隊報酬、有害鳥獣駆除従事者特別障害保険等

継続

1,221千円

- ・ 狩猟免許取得補助

継続

188千円

※有害鳥獣駆除対策の推進については、4-1-2-⑤に掲載

□ 松くい虫対策事業

継続

57,320千円

- ・ 枯損木の処理(市内全域)、薬剤散布(東伊那地区)、樹幹注入薬剤補助

③ 森林資源の多目的活用

【予算額 1,033千円】

地域産材の公共建築物への利用を促進し、農業、商工業、観光との連携により広域的な交流を促進し、森林空間の有効活用と森林資源の多様な利活用を図ります。

【主な事業】

□ 森林の里親促進事業

継続

1,033千円

里親企業の協力を得て、市内の森林整備を実施します。また、市民の皆さんが森林に親しむ機会を提供していきます。



森林の里親企業による作業状況

④ 森林環境譲与税の活用

【予算額 54,439千円】

森林環境譲与税等を活用し、民有林整備に向けた利活用を推進します。

(令和8年度森林環境譲与税 25,000千円、森林環境譲与税基金繰入金 29,402千円、森林環境譲与税基金利子 37千円)

- ・ 森林整備意向調査
- ・ 林道補修工事、維持管理委託
- ・ 松くい虫対策事業の一部(ドローン調査、支障木伐採等)
- ・ 駒ヶ根高原の森林整備
- ・ 森林路網デジタル情報システム改修
- ・ 十二天の森管理運営事業(社会教育課)等

拡充

新規

1 活力ある商業・サービス業の振興

R8.2
商工観光課

めざす姿

特色あるサービスが個店で提供され、また新しく事業に挑戦する人が増えることで、活力ある地域商業が展開されている。

	推移 (R7年度は見込)								目標
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
空店舗を活用した出店者数 (延数)	20	26	32	35	37	38	40	44	60
こまがね創業サポート窓口相談者数	19	33	21	18	23	20	25	21	20
上記のうち創業者数	10	16	7	7	7	12	10	13	5

**8年度の
ポイント**

- ① まちなかに集客が生まれるための支援
- ② 新規創業者支援

① 商店街活性化事業

継続

【予算額 3,600千円】

中心市街地空き店舗等活用事業 2,990千円

中心市街地や対象地域内の集積地にある空き店舗を活用して、集客のための事業を行う事業者及び商店街団体等に対し、改装費及び賃借料の一部を補助する。

■ 対象経費	改修費または付帯設備等の設置費、空き店舗賃借料
■ 補助率	(改装費) 1/2以内 限度額100万円 (賃借料) 1/2以内 3万円/月額 12月分

商店街駐車場運営支援事業 610千円
対象: 中央駐車場、優YOUパーク



② 商工会議所指導育成事業

継続

【予算額15,000千円】

駒ヶ根商工会議所が基本方針に基づき実施する各種振興事業に対し支援する。令和6年から3年間は、会議所経営機能強化のため、支援を拡充する。

③ こまがね創業サポート事業

継続

市、商工会議所に「こまがね創業サポート窓口」を設置し、また、市内金融機関等との連携を強化することにより、新たに起業する人を支援する。

④ 駒ヶ根バスターミナル待合室等運営費補助事業

継続

【予算額876千円】

高速バス利用者等の利便性の向上のため、駒ヶ根バスターミナル内で事業を行う者に対し、待合室及びトイレの提供などの費用の一部の補助を実施する。

2 人が集まる「まちなか」の魅力づくり R8.2
商工観光課

めざす姿 ●「まちなか」が生活に便利な場所となり、暮らす人、買い物に来た人、交流する人など多様な目的を持った人々が日常的に「まちなか」を歩いている。
●イベントなどで賑わいのある「まちなか」が形成されている。

	推移				目標
	R1	R3	R5	R7	R8
市民満足度調査（中心市街地活性化の取り組み）	2.66P	2.59P	2.72P	2.85P	3.0P
市民満足度調査（1年間に10回以上中心市街地を訪問する比率）	35.5%	33.6%	32.5%	35.4%	50%

8年度のポイント ① 中心市街地再整備の基盤づくり
② まちなか賑わいイベントの推進

① 市街地再生推進事業

拡充 【予算額 6,588千円】

こまがねテラスでは、街全体がまなびの場となるこまゼミや人と人との繋ぐ場の提供などに取り組みながら、賑わいを創出するとともに、新たに地域力創造アドバイザーを加えたエリアプラットフォームを中心に、コミュニティ施設等を活用した居場所づくりなど、未来ビジョンの実現に向けた取り組みを持続的に展開しながら、機運の醸成を図り、将来に向けた基盤づくりを進める。



駒ヶ根まちなかエリアプラットフォーム「トークイベント」

市街地再生推進業務	1,500千円
エリアプラットフォーム	4,207千円
中心市街地再生支援事業など	881千円

② まちなか賑わいイベント事業

継続 【予算額 4,200千円】

- KOMA夏!!（KOMA夏実行委員会） 2,300千円
7月に市街地で行われるKOMA夏!!の支援
- 駒ヶ根商工まつり（駒ヶ根商工会議所） 800千円
地域産業の紹介や物販に多くの商工事業者が関わるイベント
- 商店街賑わい創出事業 1,100千円
まちなかの賑わいと活力を作るためのイベントを実施する商店街団体等に、予算の範囲内で経費の一部補助を行う。



KOMA夏 第19話

■対象者	商店街団体、コミュニティ団体(注)
■対象経費	報償費、印刷製本費、広告宣伝費、会場使用料、賃借料(リース)、備品購入費、原材料費
■補助率	2/3以内 限度額30万円

(注)コミュニティ団体は商店街団体と連携すること。
*令和7年度決算見込：4イベント/事業

③ 駅前ビル活性化センター管理事業

新規・継続 【予算額 89,733千円】

中心市街地の活性化に資するため、市民のコミュニティの場を提供する。駅前ビル全体及び駅前駐車場の管理は指定管理者が行う。

指定管理料	18,600千円
駒ヶ根駅前ビルアルパ整備	5,000千円
駒ヶ根駅前駐車場整備(改修工事)(令和7年度～8年度 継続費50,000千円)	41,200千円
LED照明工事その他整備	7,350千円
その他管理費(光熱水費、土地賃借料など)	17,583千円

利用状況	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込
会議室利用人数	32,976	29,391	12,638	11,685	15,018	21,640	20,566	21,000
駐車場利用台数	124,982	127,925	97,592	101,414	109,037	111,549	122,303	119,000

3 新たな高付加価値産業の振興と企業誘致の推進R8.2
商工観光課**めざす姿**

- 多様なニーズに応えながら、次世代につながる付加価値の高い新たな産業が創出される。
- 先端分野の産業、内需型・研究開発型企業の誘致により地域経済が活性化している。

*目標は総合計画の目標値

年度	推移							目標
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
製造業の製造品出荷額等※ 単位=億円	1,461	1,718	1,572	1,551	1,995	2,076	1,944	1,800
工場等の立地件数 単位=件(累積)	16	17	18	19	20	20	20	23
サテライトオフィスを設置した企業数(累積)	2	3	3	3	3	2	2	5

※工業統計調査はR2年調査を最後に廃止(経済構造実態調査に包摂。経済センサス実施年は除く)

※経済構造実態調査では個人経営の事業所は集計対象外となっており、過去実施の工業統計と単純比較ができない。

**8年度の
ポイント****高付加価値産業等の立地に向け、継続した企業誘致活動を実施****① 企業誘致活動の推進****拡充****【予算額 4,914 千円】**

誘致パンフレット作成、情報収集
DM送付、訪問活動等
企業立地支援事業への参加
既存工業団地管理
工業用地基礎調査

568 千円
2,972 千円
73 千円
801 千円
500 千円

② 特定地域工場等設置補助事業**継続****【予算額 41,000 千円】**

新增設の促進のため、特定地域への工場新增設等に対する補助

固定資産税相当額等について補助(3年間、2社)
用地取得費助成事業(30%以内:1社)

2,000 千円
39,000 千円

助成実績	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込
固定資産税相当額等助成事業(単位:件)		6	7	5	7	4	4
用地取得費助成事業(単位:件)		4	4	3	2	2	1

③ 企業立地制度資金預託事業**継続****【予算額 33,333 千円】**

企業立地促進のため、預託制度による低利な制度資金により支援
新規企業分(1社)

33,333 千円

利用実績	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込
企業立地資金預託事業(単位:件)		3	3	2	1	1	0

④ テレワーク推進事業**継続****【予算額 3,677 千円】**

駒ヶ根テレワークオフィス(Koto)の運営と、施設の維持管理を行う。

3,677 千円

4 地域を支える中小企業の経営基盤強化と人材の創出

R8.2
商工観光課

めざす姿

- 企業、行政、金融機関、商工団体等あらゆる関係団体が連携し、中小企業の経営基盤が安定・強化し、地域産業が活性化している。
- 地域経済を支える優秀な人材の育成と確保がなされ、誰もが能力を発揮できる働く場所が確保されている。

年度	推移 (R7は見込み)						目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
販路拡大・展示会出展に伴う新規取引件数 単位=件	3	12	32	11	35	28	21
テクノネット駒ヶ根講座等参加者 単位=人	262	412	503	564	592	401	800

*目標は総合計画の目標値

8年度のポイント

- ① 中小企業融資促進事業
- ② 中小企業の人材確保等に向けた支援を強化します。

① 資金融資制度充実

継続 【予算額 243,200千円】

金融機関、信用保証協会と協調し、低利の融資制度により中小企業者の経営安定を支援する。

信用保証料の一部を市が負担し、中小企業者の負担を軽減

融資目標額 市制度2.5億円、県制度2.0億円

② 中小企業の新たな成長戦略に向けた支援等

新規 拡充 【予算額 52,090千円】

地域のものづくり産業を持続的に発展させるため、新たなビジネスモデルの構築や生産性の向上、時代の変化に的確に対応できる優秀な人材の育成に向けた取り組みを強化する。

生産性向上等のため、自動化等の設備投資に要する経費の一部を補助【新】	40,000千円
販路拡大のため、技術や製品の展示会等の出展に要する経費の一部を補助【拡】	11,000千円
従業員の人材育成支援のため、研修に参加する経費の一部を補助	1,000千円
(公財)長野県産業機構の専門家派遣事業に要する経費の一部を補助	90千円

③ 中小企業人材確保事業

拡充 【予算額 6,643千円】

若者の大企業志向の高まりや離職率の増加等により、深刻な人手不足に直面している中小事業者の人材確保に向けた取り組みを強化する。

求職者とのマッチング機会や求人広報等の強化に要する経費の一部を補助	4,000千円
人材の確保及び定着に向け、従業員の遠距離通勤に要する経費の一部を補助	1,000千円
地方企業への就職活動や就職後の移住にかかる経費の一部を補助	1,643千円

④ テクノネット駒ヶ根事業

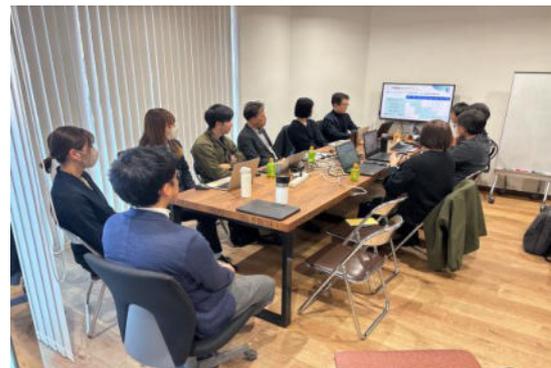
拡充 【予算額 3,700千円】

異業種連携組織であるテクノネット駒ヶ根の活動支援を行い、個々の企業の体質強化を図る。

令和8年度は、設立30周年を迎えるため、記念事業を行う。



企業ドメイン研究会



企業デジタル活用研究会

⑤ 地域の稼ぐ力強化・発信事業

継続【予算額 5,500千円】

地域の稼ぐ力を創出するため、市内事業者からの新商品開発や既存商品ブラッシュアップ、販路開拓、PRや情報発信等の相談に対し、全国のマーケット動向やトレンド等を考慮したアドバイス等を行い、事業者への学びや気づき、実践の場を設ける。

⑥ 雇用対策協議会を中心とした雇用対策支援

継続【予算額 500千円】

広域連携による企業説明会等の活動によりUIターン就職による雇用確保を図る。
高校進路指導職員の情報交換を実施し、地元企業への就職を促進する。
無料職業紹介所の運用により、UIターン就職を促進する。



駒ヶ根雇用対策協議会総会



企業ガイドブック2027

⑦ 勤労者互助会育成事業と中小企業の経営安定化

継続【予算額 4,707千円】

市内の中小事業所に勤務する勤労者及び事業主の福利厚生事業を担う勤労者互助会の運営を支援し、勤労者の福利厚生の増進を図る。